

10月1日現在で、日本に住む全ての  
人を対象として国勢調査を実施します。



世田谷区令和2年国勢調査実施本部  
(世田谷区統計調査担当課)

## ～松沢まちづくりセンター業務案内～

### まちづくり業務

- 身近なまちづくり推進事業に関すること
- ごみ減量・リサイクル推進委員会に関すること
- 青少年地区委員会に関すること
- 地域団体等の連絡・協力に関すること
- 地域振興に関すること
- 避難所運営訓練の支援、防災相談・啓発に関すること
- 日本赤十字社に関すること
- 社会福祉協議会に関すること
- 共同募金に関すること

### 窓口業務

- 国民健康保険 被保険者証・高齢受給者証の再交付
- 後期高齢者医療 被保険者証の再交付
- 介護保険 被保険者証の再交付
- 母子保健 妊娠届出書の受理、母子健康手帳の交付
- 就学 国・私立校就学申出書の受理
- 施設・物品 区指定保養施設利用券の交付  
区広報板(地域コーナー)の利用  
けやきネットの申請書の配布・受付  
印刷機の利用  
車椅子・高枝切鋏の貸出  
ごみ散乱防止ネットの配布
- 証明書取次ぎ発行 住民票の写し  
印鑑登録証明書  
特別区民税・都民税課税証明書(現年度分)

### マイナンバーカード専用証明書自動交付機

- 証明書の発行 住民票の写し  
印鑑登録証明書  
特別区民税・都民税課税証明書(現年度分)  
特別区民税・都民税納税証明書(現年度・前年度分)  
戸籍全部事項証明書・戸籍個人事項証明書

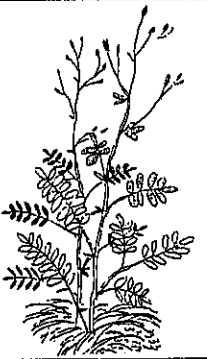
詳細は松沢まちづくりセンターまで  
お問い合わせください。

住所 世田谷区赤堤5-31-5  
電話 3323-8391



# 松ざわニュース

発行番号 第 1 5 0 号  
発行年月 令和 2 年 10 月  
発行局 松ざわニュース編集委員会  
事務局 松沢まちづくりセンター  
Tel 3323-8391  
赤堤5-31-5



## 松ざわニュースからのお知らせ

終わりの見えないコロナとの戦い、皆様大変な  
毎日を送っておられる事と思います。

松ざわニュース150号(4月発行予定)遅くなり  
ましたが発行させて頂きます。少々時期のずれる  
記事もありますが、お寄せ頂いた方々の気持をお  
届け出来たら、と思っております。

又、この新たな日常が落ち着くまで、ニュース  
の発行を控えて頂く事に致しました。再開の  
日が一日も早く来ますよう。編集委員会一同願っ  
ております。

## 「松沢まちづくりセンター」の紹介

私たちに最も身近な行政の窓口である「松沢まち  
づくりセンター」についてご紹介します。

### 「松沢まちづくりセンター」の変遷

◆昭和22年、戦後これまで町会に委託していた行政  
の事務は区の直轄となり、区内23カ所に出張所が  
設置されました。松沢地区には「第11出張所」が  
開設されました。

◆平成3年、区内に5つの総合支所(世田谷・北沢・  
玉川・砧・鳥山)が開設され、地域行政制度がスタ  
ートし、出張所の名称も「松沢出張所」と改称され  
ました。また、上北沢出張所の開設により、上北沢  
が松沢出張所の管轄から外れました。

◆平成17年、区の出張所改革によって、それまでの  
中心業務であった「窓口業務」が大幅に縮小され、  
代わって地域コミュニティの活性化や、より住  
みやすいまちづくりを支援することが中心業務と  
なり、名称も「松沢まちづくり出張所」となりま  
した。

◆平成21年、さらに「松沢まちづくり出張所」から  
「松沢まちづくりセンター」と名称が変わり、現在  
に至っています。

◆平成25年、まちづくりセンターに、防災支援の役  
割が加わり、各学校の避難所運営委員会の支援や  
防災の啓発を行うようになりました。

## 秋の古着回収の日程

※雨天でも実施します

☆ 10月24日 土曜日 9時から12時

- ①赤松公園(線路側) 赤堤4-10
- ②六所橋区民集会所 赤堤2-10
- ③デイホーム赤堤 赤堤1-37

☆ 10月31日 土曜日 9時から12時

- ①桜上水南地区会館の斜向い 桜上水3-17
- ②松沢中学校横(松原高校寄り) 桜上水4-5
- ③桜上水日本生命社宅わき 桜上水5-5

★透明または半透明のビニール袋に入れて、  
お持ちください。

★マスク着用のご協力をお願いいたします。

★一旦回収した古着は、返却することはできません。

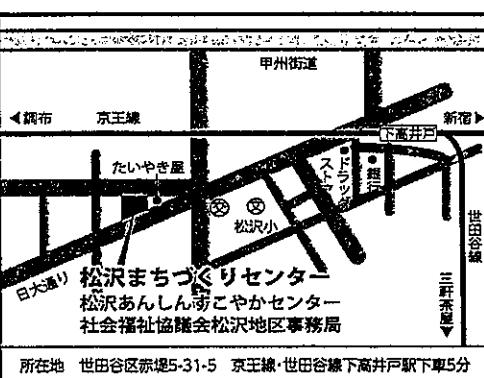
★問合先: 松沢まちづくりセンター(3323-8391)

### 「各まちづくりセンター」の現況

◆令和元年12月末、まちづくりセンターに設置さ  
れていた証明書自動交付機が廃止され、令和2  
年1月からは、マイナンバーカード専用証明書  
自動交付機に代わりました。また、窓口での証  
明書取次ぎ発行が始まっています。

現在、区内28地区にまちづくりセンターが設  
置され、左の表のような業務を行っています。

※一部のまちづくりセ  
ンターでは、取り扱  
い業務が異なります。



「シリーズ行ってみませんか」

# 「ファーマーズマーケット・千歳烏山」

新鮮で安心安全な、世田谷育ちの野菜や果物などの農産物、花などが豊富に置いてあるお店があるとしたら、行ってみたいと思いませんか？  
京王線千歳烏山駅北口から歩いて3分、旧甲州街道沿いのJA東京「ファーマーズマーケット・千歳烏山」は、まさにそんなお店です。

店頭には広がるスマイルやクリスマスローズの苗床。チューリップやユリの切り花。桜、木蓮など枝咲きの花々。その奥には緑の葉野菜、根野菜、各種果物。ドレッシングなど加工食品も。お店の中では「野菜ソムリエ」の称号を持つ制服姿の女性が、お客さんの質問に答え、野菜の種類や産地、美味しい調理の方法などを、詳しく解説していました。

立派な大蔵大根も並んでいます。「大蔵大根は、ここと、二子玉川店でしか手に入らないんですよ。」初めて見た「菊芋」、小ぶりのキウイフルーツも世田谷産だそうです。また「世田谷でフルーツ収穫体験」、「世田谷の野菜でコース料理」、「かぼちやのランタン作り」といった講座やイベント情報もゲットできます。



大蔵大根

クリスマスローズの苗床



ファーマーズマーケットの外観



買物中のお客さんに伺いました。

＊初めて来ました。野菜、花、すべて新鮮で欲しくなる物ばかり。特に野菜ソムリエさんに、あれこれ教えて頂けたのが、一番の感動でした。

＊新鮮・目新しい野菜との出会い、よかったです。野菜ソムリエのお話も大変参考になりました。また来ようと思います。(2月19日訪問)

◆京王線「千歳烏山駅」下車

北口より 徒歩3分

## 松沢中学校 新一年生の皆さんへ

～在校生からの、メッセージ～

新一年生のみなさん、ご入学おめでとうございます。中学生になり、色々な不安があると思いますが、松沢中学校は明るくて、とても楽しい学校です。私達も入学当初は不安でいっぱいでしたが、優しい先生方や先輩方、新しく出来た友達に囲まれ、楽しい学校生活を過ごしています。また、部活動も充実しており、そこでもとても楽しい時間を過ごせます。

勉強や、普段の学校生活など、大変だと思いますが、その分、充実した時間を過ごせると思います。

松沢中学校 杉田 夏陽

新一年生の皆さん、中学校入学おめでとうございます。

松沢中は、勉強はもちろん、部活動や行事を通して友達との友情を深める所です。最初のうちは、部活動と勉強の両立が難しいかもしれませんが、困った時はいつでも先生や先輩に声をかけて下さい。友達と協力して、楽しい学校生活を送って下さい。

松沢中学校 小松 もも

一年生のみなさん松沢中学校へのご入学おめでとうございます。松沢中では、運動会や文化祭など楽しい行事がたくさんあります。最初は、とても不安だと思いますが、慣れればとても楽しく、友達もたくさんできます。また、運動会や松中祭では、クラスで協力し、優勝を目指します。このような行事を通して、クラスで協力することの大切さを学べます。これから3年間、楽しい中学校生活を送ってください。

松沢中学校 斉藤 将太

## しもたか音楽祭

恒例の「しもたか音楽祭」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために例年通りの「しもたか音楽祭」を開催することはできません。

今年は、いつも参加して頂いている団体や、新しい団体も参加して、事前に収録していただいた映像をYouTubeの特設チャンネルで配信します。詳しくは、10月中旬ごろ商店街ホームページに掲載します。

## 会長が替わられました

・桜上水4丁目町会会長に 鮎川 清則氏  
・桜上水ガーデンズ管理組合法人理事長に 高橋 輝夫氏

## イベント中止のお知らせ

・日本大学文理学部 桜麗祭  
・まつざわふれあいサイクルフェア  
・六所の森クラシックコンサート

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりました。

## ひとこと

今年に入ってすぐ、携帯電話をガラ機からスマホに変えました。あと数年でガラ機が無くなるという事で決断!!心配していた程苦勞せず移行出来ましたが、何かを新しくするという事が、年々億劫になります。

技術が進み、様々な物が便利になっている様ですが、機能が多くて使い熟すのに四苦八苦。取説読むのも大変。もっと単純に、と感じます。

これ以上歳を重ねたら覚えられなくなるから今のうちに。などとも思いますが、その頃は認知症？

とはいえ、多くの人が新しい環境に足を踏み出す時期、私達も挑戦の精神を失わないように。と自分に言い聞かせています。

## 編集後記

「松ざわニュース」は昭和58年1月号創刊から地域のみなさまのご協力をいただいて150号を数えることができました。

今号は、初めての試みで在校中学生から新入学生への「おめでとうメッセージ」をいただいたり、いつもお世話をしてくださる「松沢まちづくりセンター」の紹介ができました。これから